

**中国（上海自由貿易試験区）に現地法人を設立
～外資系企業初となるコールセンターの単独経営を開始～**

コールセンター・バックオフィス（事務処理センター）の構築・運営を行うベネッセグループの株式会社 TMJ（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：丸山 英毅、以下、TMJ）は、上海自由貿易試験区にコールセンター事業としては外資系企業初となる現地法人「上海捷声商務服務有限公司」（以下、新法人）を設立し、2015年8月6日より事業を開始しました。

中国当局は2013年より経済活性化を図るべく上海に国内初の自由貿易区を新設し、同区内では外資系企業に対する様々な規制業種において緩和策を打ち出しています。緩和対象業種には外資系企業の直接参入が規制されていた増値電信業務<コールセンターや電子商取引（以下、EC）>も含まれています。

TMJは、同業他社に先駆けて同区内に新法人を設立、外資系企業として初となるコールセンター事業の単独経営を実現しました。

2002年より中国に進出したTMJの中国現地子会社「益峰客戶關係管理（上海）有限公司」（以下、VCS）の既存クライアントは、協議のうえ来春までに新法人へコールセンター事業を移管、VCSは現行展開しているEC事業へ特化していく予定です。領域の特化を進めることで、これまで以上に中国国内外のクライアントおよび一般消費者に、多様かつ専門的なサービスを提供していきます。

【新法人の概要】

商号 : 上海捷声商務服務有限公司
Jie Sheng Communication Services (Shanghai) Inc.
設立 : 2015年8月6日
登記地 : 中国（上海）自由貿易試験区基隆路55号11階
代表者 : 董事長兼總經理 宋 健名
資本金 : 人民元500万
出資比率 : TMJ 100%
事業内容 : 増値電信事業（コールセンター）、企業管理コンサルティング など

<株式会社 TMJ 概要> (<http://www.tmj.jp/>)

TMJは、ベネッセコーポレーション「進研ゼミ」のインハウスセンターが独立分社する形で1992年に設立。世界でも例のない継続型の会員制事業で培った生産管理、品質管理のノウハウを活かし、多種多様なクライアント企業のコールセンターの設計・運営から、調査・分析、人材派遣、人材育成などのサービスを提供。2012年7月には、設立20周年を機に社名を「株式会社TMJ」に変更。2013年8月 パイリンガルITアウトソーサーのBiOS社を子会社化。同年11月、フィリピンで日本企業向けの業務委託を請け負うガリバー・オフショア・アウトソーシング(株)、インドネシアで最大規模の民間BPO(ビジネスプロセスアウトソーシング)企業であるPT Asia Outsourcing Servicesと業務提携契約を締結。コールセンター事業に加え、バックオフィスを含むBPO領域へと事業を拡大している。

- ・設立 : 1992年4月
- ・本社所在地 : 東京都新宿区西新宿7-20-1
- ・代表者 : 代表取締役社長 丸山 英毅
- ・資本金 : 300百万円(株式会社ベネッセホールディングス60%、丸紅株式会社40%出資)
- ・拠点 : 東京、札幌、仙台、名古屋、大阪、岡山、北九州、福岡、佐賀、熊本、鹿児島、上海(中国)
- ・事業内容 : コールセンターの調査・設計、運営、および、コンタクトセンターの運営に関する人材開発、派遣、教育・研修、前後工程のBPO業務。
企業内の人事系、総務系、経理系業務など、バックオフィス業務の受託・運営。

■お問い合わせ

営業本部 営業管理部 広告宣伝課 泉 [pr@tmj.jp]

TEL:03-6758-2016 FAX:03-5389-5843